



### ——海に生きた人々が故郷に寄せた想い—— 村上貢著「しまなみ人物伝」上梓

今年八月五日、「しまなみ人物伝」(1,800円。海文堂出版)という本が上梓されました。著者は、我が上島町生名島在住の村上貢氏(八九)。村上貢氏は海軍史研究の第一人者で、京都大学史学科を出て、1960年、岐阜県立多治見高等学校教諭。1967年、弓削商船高専助教授、のち教授。退職後、名誉教授。1990年、岡山商科大学経済学部教授(大学院併任)。2002年、同大学退職後名誉教授。現在に至っています。弓削商船高専着任後、瀬戸内海を中心にした海軍史研究に専念し、数多くの関係論文を発表されてきました。



新刊「しまなみ人物伝」を手にする  
 村上貢夫妻 (2015年9月 自宅にて)

瀬戸内の小島から出た感丈夫氏の研究テーマは多岐にわたるわけですが、このたびは今治「尾道の、いわゆる「しまなみ海道」沿いの島に、生まれたり活動したりした先人たちの足跡がテーマです。

第一部、「日本の夜明けの時代」第二部、「未来を夢見た先輩たち」の構成になっており、ことに第二部では、我が町由来の人々が多く取りあげられ、興味深い読み物になっています。



◆弓削島出身の田坂初太郎(嘉永四年〜大正十年。弓削島出身。弓削商船学校をつくるのに尽力) ◆浜根岸太郎(初代Ⅱ文久元年〜大正十三年。弓削島出身。二代目Ⅱ明治二七年〜昭和四五年。函館出身。共に現在の尾道造船所を設立発展させた。初代、二代目とも、故郷弓削島の子弟育成のための貢献) ◆生名島出身の濱田國太郎(明治六年〜昭和三年。日本海員組合を創った) ◆小林善四郎(安政六年〜昭和五年。東京出身。初代弓削商船学校長) ◆弓削商船学校学生への情懷教育に尽したピッケル船長(慶応元年〜大正六年。ドイツ系アメリカ人。伝導船福音丸船長)

任意団体「濱田國太郎を顕彰する会」(代表・村上貢 事務所NPO法人頼れるふさとネット内。☎0897-72-9188)でも本書の頒布のお手伝いしております。ご連絡くださいばお届けいたします。



◆夏目漱石の小説「坊ちゃん」のうらなり君のモデルと言われる中堀貞五郎(天保三年〜昭和二年)は、弓削商船学校の教師でした。

◆弓削商船学校を出て政治家になった小山亨(明治二八年〜昭和四八年。長野県出身。昭和一年、衆議院議員。商船高校の高専昇格に尽力)もいます。

◆生名島にある三秀園の持主であった麻生イト(明治九年〜昭和三十一年。尾道出身)は、男装の女親分などによばれ、因島が造船の島としての草創期から老朽船の解体業などで財を得、地域の子弟・子女の教育向上に尽力しました。

#### 日本近代化の道程をみる

幕末の尊皇攘夷、倒幕運動を経て成し遂げられた明治維新。そこから日本の近代化に拍車がかかりました。維新の歴史的評価は、近年倒幕運動の背後にあった外国勢力の正体が明らかにされ、それを踏まえて定説が揺れているというのが実情のようですが、それは置いて、日本が近代化への歩みを加速させる過程で、瀬戸内海の島々から輩出した海に生きた人々がいかに貢献したかはこの本でその一端に触れることができます。よく売れているようで、弓削通信フェニックスに毎号掲載している日本海員組合をつくった生名島出身の濱田國太郎についても、当時において、激しく社会変革に取り組んできた偉人だった事実が、町民の皆さんに共有されることは嬉しいことです。

### きんぐちん

青木喜代子

最近、島内を走るサイクリストが急増した。性別、年齢、国籍を問わず、もちろん自転車もまちまちで、見ていると楽しい。大阪で自転車を作る会社に勤めている息子が、盆休みに先輩としまなみを走った。先輩の車にそれだけの自慢のバイク(彼らは自転車とは呼ばない)を積んで因島着。早速、愛車を組み立てて出発。

途中で人気の海鮮丼を食べ、美しい景色に心を潤し、喜んで帰って行った。休み明けには会社で「やっぱりサイクリストの聖地に行かんとあきませんよ！」って自慢したことだろう。「楽しかったから、今度はみんなで行こう！」とメールが届いた。

実は、もうひとり誘ってくれた子がいる。トライアスロンをやっている甥っ子。毎日トレーニングに励み、六、七、八月の

大会は優勝。泳いだ後、浜に上がり、走りながらスーツを脱ぎ、シャワーの下を走り抜けバイクでまた疾走。次はランと聞くだけでも尊敬する。

幼い頃は走るのが大嫌いだっただけは、中学生の時のコーチに走る楽しさを教えてもらい、いいタイムを残すようになった。その彼と「しまなみ」を……。



息子にスマートフォンでかっこいい電動アシストを造ってもらおうか。

夫? 早々に救護、後方支援を申し出て、車でサポートしてくれるらしい。

地元の私が未経験というのものなあ……。悩んでおります。みなさまは、もう経験済み?

### 移住者支援をやってみて思うこと

政府の地方創生戦略のひとつに地方への移住というのがあります。少子化の地方にあつては移住者が増えるのは望ましいにはちがいないです。しかし、移住とは生活の場を移すこと。相当の覚悟がなければ、そして受け入れる側も、特段の対応をせねば実現しません。町ぐるみで移住支援が出来るかどうか受け入れる側の覚悟も問われます。例えば管理下にある空き家ひとつとっても、ホントに未来への架け橋にする気があるかどうか、ですね。

### 出よう会

●毎月第2と第3火曜日、午後1時〜3時まで。お年寄りたちの交流タイムです。自由参加・無料。  
 ●9月8日(やよみ亭・終了)。9月15日(土生集会所)。次回10月13日(やよみ亭)。10月20日(土生集会所)です。

### やよみ亭 映画研究会

(無料) 9月15日(火) 19:00~  
 【どなたでもお気軽に覗きにおいでください】



「山」  
 ●大金を積んだ飛行機が山へ墜落。その金を手に入れようとするなら困難な挑戦。1955年米国映画。主演: スペンサー・レイシー、ロバート・ワグナー。監督: エドワード・ドミトリク。



### 海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会 (参加自由)  
(毎月25日13時～。生名中央公民館2Fで開催)  
(16)

【濱田國太郎の出家】 ②

吉井良久 (雷声寺住職)

昭和5年に國太郎さんは「雷声寺」建立構想を立ち上げ、準備を重ねてその四年後の昭和8年地鎮祭開催に至りました。表六甲で港を一望できる神戸市葺合区芋川谷東山(現神戸市中央区葺合町東山)の地がその境内地です。翌年平成9年に雷声寺落成、5月にはなんと四国讃岐の琴平宮から金毘羅大権現を本尊としてお迎えをしてご本尊としたのです。國太郎さんの政治力と行動力ならではの大作といえるでしょう。



●当時の新聞記事(村上貢・海父濱田國太郎より)

國太郎さんは、地鎮祭の頃から衣姿になって既に周辺に披露していたようです。新聞には「墨染衣と闘志の濱田海員組合長が住職の金毘羅さん・・・今日地鎮祭」と見出し記事があり、組合本部にも自慢の衣姿をみせていたようです。しかしながら、実際にはひとつの解決しなければならぬ問題がありました。國太郎さんは自ら雷声寺に入室常住しますが、日本伝統仏教宗派所属の僧侶あるいは末寺ということではなかったのです。お寺の宗派と自分の所属宗派がどこかという、國太郎さんが当初より願っていたと思われる高野山真言宗の末寺「雷声寺」で、その住職という形ではなかったのですね。

お寺の社会的基盤が得られていない。実は自己申請・自己承認のお坊さんに過ぎなかった現実は國太郎さんにとって大変な問題であったろうと思われます。

進化を目指す議会へ  
合併後の上島町議会第3期の議員任期は、あますところ1年余となりました。この3期目は町議会にとっても色々な出来事がありました。その多くは議会が議会としての本分を果たす、つまり行政チェックをしようという出来事です。議案の否決や修正。理事者の政治姿勢に責任を迫ること。議会報の議員による責任編集。合併以来の懸案事項である議員選挙区全町一區制についての内部協議。議会基本条例の制定準備。議会基本条例に沿う形で、議案審議の在り方の模索。町民と議会との懇談会の開催など、ひとつひとつが形骸化を言われてきた地方末端議会にあつて、次につなげるための重要な前例でもあり、経験でもあり、それらすべて、強い理知のない議会を実現することにつながります。

### 議員活動録 (31) 議会議員 平山和昭

定数減、報酬減は行政コストを下げるという理由が主たるものですが、町民の皆さんから見れば、何をしているかわからない(見えない)議員なら、数を減らせ。報酬を減らせ。そういう圧力になってきます。ですが、議員の有用性は、町民の皆さんに感じられないのは、活動的な若い議員が極めて少なかったせいではないでしょうか。

町職員が給料で生活できているように、議員も最低限報酬で生活できれば、働き盛りの人たちが議員になろうなどと思ってしまう。姑息手段と無力かと議員選挙区については、先の6月議会で魚島1人区を設ける小選挙区制の条例案が提出されそうになりました。この件に関しては、合併第3期早々の、平成25年6月議会でも、選挙区条例案を提出する動きがありました。同年4月15日までに、議員間で何度か話し合いをし、その結果、各議員の意向確認をふまえて、全町一區

全町一區賛成議員は次の通りでした。提出者、平山和昭、賛成者、竹林秀夫、濱田高嘉、桧垣一成、池本興治、寺下満憲、原博彦、林廣道、古崎幸江の各氏。なお名を連ねてはいませんが、当時の議長が前田省二氏、当時の議長長土井計彦氏も、意見調査では全町一區賛成者でした。それが2年後の今、魚島特区を設ける条例案が、事前に議会内部に情報提供もなく密かに準備され、抜き打ち的に上程されようとしたのです。議員の責任と節操とは町民を代表する議員の身分に關する、この重要な案件に關し、当時となら状況は変わっていないにもかかわらず、何名もの議員の態度が変わったのでしようか? 2年前の話し合い、意志表示、確認事項は、では何だったのか? もしこのようなことがまかり通る軽い議会、軽い議員なら、報酬増や定数増といった議会改革のアイデアなど、盗人に追いぜ二の類だと、町民の皆さんから冷笑されること間違いないところでしょう。

### 議員選挙区全町一區制の実現 合併十年以上・町は一つ

生活できねば、働き盛りの人たちが議員になろうなどと思ってしまう。姑息手段と無力かと議員選挙区については、先の6月議会で魚島1人区を設ける小選挙区制の条例案が提出されそうになりました。この件に関しては、合併第3期早々の、平成25年6月議会でも、選挙区条例案を提出する動きがありました。同年4月15日までに、議員間で何度か話し合いをし、その結果、各議員の意向確認をふまえて、全町一區

全町一區賛成議員は次の通りでした。提出者、平山和昭、賛成者、竹林秀夫、濱田高嘉、桧垣一成、池本興治、寺下満憲、原博彦、林廣道、古崎幸江の各氏。なお名を連ねてはいませんが、当時の議長が前田省二氏、当時の議長長土井計彦氏も、意見調査では全町一區賛成者でした。それが2年後の今、魚島特区を設ける条例案が、事前に議会内部に情報提供もなく密かに準備され、抜き打ち的に上程されようとしたのです。議員の責任と節操とは町民を代表する議員の身分に關する、この重要な案件に關し、当時となら状況は変わっていないにもかかわらず、何名もの議員の態度が変わったのでしようか? 2年前の話し合い、意志表示、確認事項は、では何だったのか? もしこのようなことがまかり通る軽い議会、軽い議員なら、報酬増や定数増といった議会改革のアイデアなど、盗人に追いぜ二の類だと、町民の皆さんから冷笑されること間違いないところでしょう。

全町一區賛成議員は次の通りでした。提出者、平山和昭、賛成者、竹林秀夫、濱田高嘉、桧垣一成、池本興治、寺下満憲、原博彦、林廣道、古崎幸江の各氏。なお名を連ねてはいませんが、当時の議長が前田省二氏、当時の議長長土井計彦氏も、意見調査では全町一區賛成者でした。それが2年後の今、魚島特区を設ける条例案が、事前に議会内部に情報提供もなく密かに準備され、抜き打ち的に上程されようとしたのです。議員の責任と節操とは町民を代表する議員の身分に關する、この重要な案件に關し、当時となら状況は変わっていないにもかかわらず、何名もの議員の態度が変わったのでしようか? 2年前の話し合い、意志表示、確認事項は、では何だったのか? もしこのようなことがまかり通る軽い議会、軽い議員なら、報酬増や定数増といった議会改革のアイデアなど、盗人に追いぜ二の類だと、町民の皆さんから冷笑されること間違いないところでしょう。

「信じる力が欲しい。誰だって傷つくのは怖いけど、飛び込む勇気がほしい。明日の用意の為に、あきらめないで。」(明日へ続く道"から抜粋)

### 明日へ続く道 黒川みき (大三島)



朝日に輝く富士をバックに

毎年「今年は平常」と誓い、突入する夏休み。私の生活サイクルは同じハズなのに、ズルズルズルズル。身も心もすっかり夏休みモード。気付けば、子供達と満喫すると共に、「あるべきようわ」(7月号参照)を意識したひと時となりました。中でも強烈だったのは、長洲剛さんの富士山麓で行われたライブ。「長洲ファン」の友人夫婦に誘われ行ってきました。彼のライブは初めての上にも、離パスの疲れが取れないまま、体調がすぐる悪かったのですが、長洲さんと熱い想いを共有

